

『五行中国史カードゲーム』

2~4人 20~30分 10才以上



1. 「王朝」と「五行」について

中国四千年の歴史において「天」より支配を任された各王朝は、五行の木火土金水(もっかどごんすい)のうち1つを宿し、その盛衰も五行の順番に従うと考えられてきました。

本作は、「王朝」と「五行」の順番を踏まえて、最も魅力的な中国史を創造し勝利を目指す、壮大かつ重厚なカードゲームとなります！

2. 内容物

- 説明書: 2枚(この紙)
- 得点記載用の筆記用具(別売)
- 得点表: 4枚(人数分)
- カード: 66枚

・「王朝」カード: 60枚

夏殷周秦漢晋隋唐宋元明清: 12種類 各5枚(木火土金水)

※○の中の数字1~12は王朝の順番を表現しています。また後述「決闘」でも使用します。

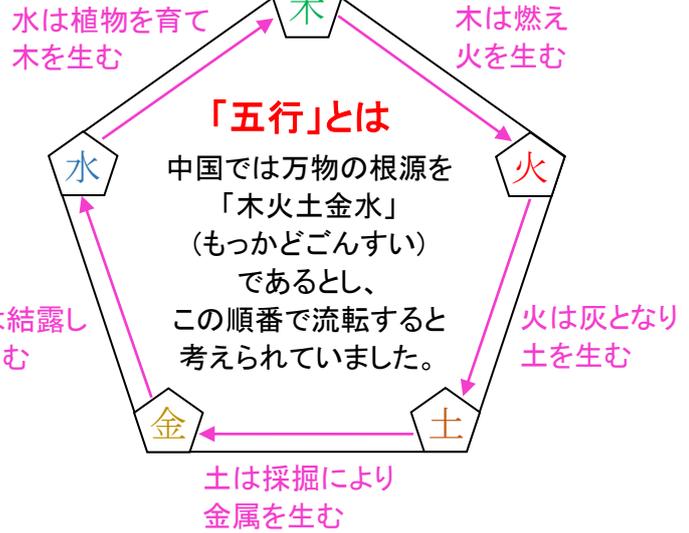
・「天」カード: 3枚

ゲーム終了時に、好きな王朝として扱えます。五行は持っていません。

・「閥(ばつ)」カード: 3枚

ゲーム終了時に、好きな五行として扱えます。王朝とは扱わず飛ばして扱います。

※「閥」は中国で覇を唱えた勢力ですが、短期で消滅し、詳細不明なため、王朝とは扱われていません。



「五行」とは

中国では万物の根源を「木火土金水」(もっかどごんすい)であるとし、この順番で流転すると考えられていました。

3. 勝利条件

後述のゲームを2回行い、合計点の高い人の勝利です♪

(同点の場合は、2回目の得点の高い人の勝利で、それも同点なら勝利を分かち合います。)

4. ゲームの準備

図1を参照しながら、以下の順番で準備を行います。

(1)カード66枚を裏向きでシャッフルし山札を作り、テーブル中央に配置。

(2)各プレイヤーは山札から表向きで初期手札5枚をもらう。

(なお、ゲーム中の手札の位置関係は気にしないでOKです♪)

(3)山札から場札4枚を引き、表向きでテーブル中央に配置。

(4)ジャンケンで勝った人から時計回りで手番を行います。

5. 手番

手番では以下の(一)(二)(三)から必ず1つ選択し実行します。

(一)「場札入手」

手札1枚を捨札へ捨てた後、場札から1枚を手札にもらいます。その後、場札が4枚になるように、山札から補充します。

(二)「山札入手」

手札1~2枚を捨札へ捨てた後、捨てた枚数と同じ枚数を山札から裏向きのまま手札にもらいます。

※裏向き非公開でも、自分の手札であれば、いつでも確認できます♪

※山札が1枚の時は、1枚しか捨てられません。

(三)「決闘」: 山札が2枚以下の時は選択できません。

他プレイヤー1人に「決闘」を申し込みます。

申し込んだプレイヤーは「攻撃側」、申し込まれたプレイヤーは「防御側」とし、双方山札から1枚引き○の中の数字を比べ、数字の大きい方が勝利となります！

※「天」「閥」は数字0と扱います。 ※同数の場合は、防御側勝利とします。

勝者は、**敗者の手札を全て表向き公開**とし、次の(a)か(b)のどちらかを行います。

(a)「略奪」: 手札から1枚を捨札に捨て、敗者の手札から1枚選び、手札にもらう。

(b)「破棄」: 敗者の手札から1枚選び、捨札に捨てる。

次に、敗者は場札の中から勝者が選んだ1枚を手札にもらいます。

最後に、場札が4枚になるように、山札から補充します。

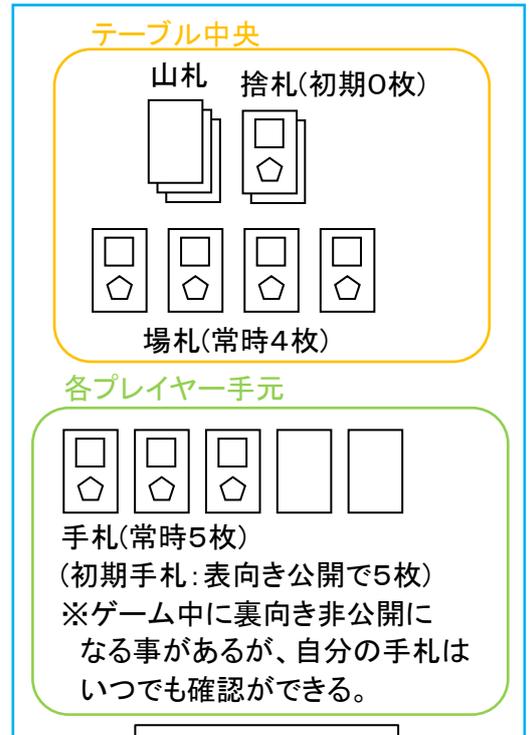


図1: プレイ風景

6. ゲームの終了

次のどちらかでゲームは即終了となります。

- 山札0枚
- 「ゲーム終了」宣言

手番プレイヤーが手番終了時に、後述の得点計算で、自分の手札が30点以上あれば宣言できます♪

※手番プレイヤーにとって1回目の手番の場合、宣言はできません！

※30点以上でも宣言しなくてもOKです♪

※勘違いで29点以下の場合は、ゲームを続行する。

(勘違いしたプレイヤーは、その時の手札を全て表向き公開にする。)

7. 得点計算と役

ゲームが終了したら、各プレイヤーは、5枚の手札の位置関係を固定します。

その後、位置関係を固定したまま、以下の「王朝役」と「五行役」の合計点を獲得します♪(全員得点できます♪)

「王朝役」と「五行役」の確認では、左から右の流れで、連続して何枚が役の順番に並んでいるかで判定します。

※逆方向の流れでは得点になりません！

(一)「王朝役」

【王朝の順番】(○の数字でも確認できます♪)

夏→殷→周→秦→漢→晋→隋→唐→宋→元→明→清

※「天」は好きな王朝として扱えます♪

※「閔」は飛ばして判定します。

※清→夏は、連続していません！

・5枚成立: 26点

・4枚成立: 18点

・3枚成立: 10点

(二)「五行役」

【五行の順番】(「もっかどごんすい」で覚えましょう♪)

木→火→土→金→水→木に戻り繰り返される

※「天」は五行を持たないので、連続が途切れてしまいます！

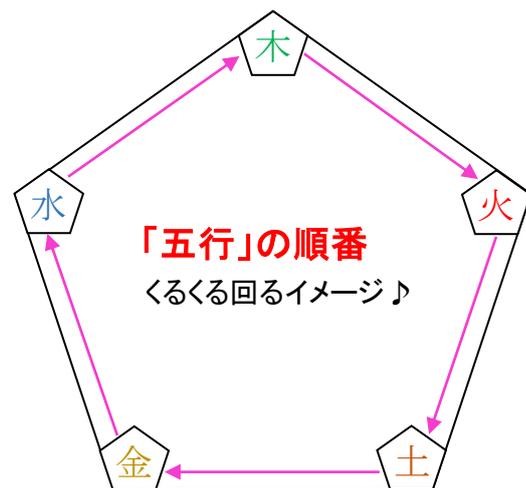
※「閔」は好きな五行として扱えます♪

※水→木は、連続します♪

・5枚成立: 20点

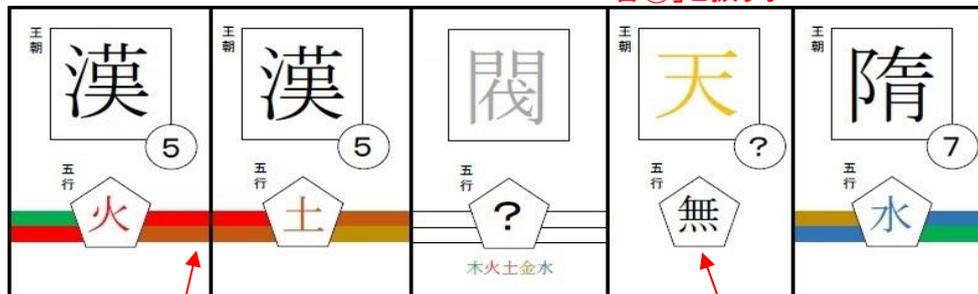
・4枚成立: 13点

・3枚成立: 6点



「王朝役」は、「天」を「晋⑥」と扱い、「閔」は飛ばして判定できるので、左2枚目から連続⑤⑥⑦と並んでおりで3枚成立: 10点！

ここでは
「晋⑥」と扱う♪



五行が順番になると
「天」「閔」以外は端の色が一致♪

ここでは
「金」と扱う♪

「天」は五行を持たず
必ず途切れる！

「五行役」は、「閔」を「金」と扱い、
左1枚目から連続で火土金と並んでおりで3枚成立: 6点！

図2: 得点計算の例

★免責事項

「ルール」に重大な欠陥が見つかった場合は、変更される可能性もあります。ご了承ください。

★ルール考案者: Hiro L.L.

★イラスト: いらすとや

★製造メーカー: あんちっく(antic-main.com)